

# 尚徳寮

令和6年3月22日

鳥取大学附属中学校

NO. 9

## 第76回卒業証書授与式

3月8日、第76回鳥取大学附属中学校卒業証書授与式が行われました。新型コロナウイルス感染防止の為、昨年度は体育館で行われましたが、今年度は従来通りに武道館で行いました。133名の卒業生は緊張しながらも堂々とした態度で式に参列し、卒業証書授与の際には、担任から呼まされると一人一人がしっかりと返事をして、礼儀正しく卒業証書を受け取りました。以下に、霜村校長の式辞を紹介します。



### 式 辞



先ほど卒業証書を授与した133名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。附属中学校での生活はどうでしたか？楽しかったですか？皆様は3年前、令和3年2021年4月に入学しています。その頃は、コロナが猛威を振るっている中でした。そのため、1、2年生の時は学校行事において様々な行動が制限されていました。しかし、3年生の春以降からは、その制限が徐々に緩和され、様々な活動が活発化した3年生を経験したのではないのでしょうか。特に、4月の東京への修学旅行、6月には観客を招いての運動会、そして、11月に全員で合唱をした文化祭、いずれもアクティブな活動ができるようになり、多くの友人との関わりが増え、そして、絆が深まり、「良い思い出」がたくさんできたのではないのでしょうか？そのような環境変化の中において、この度卒業する3年生は貴重な経験を積んだのではないかと推察しています。1-2年生の時は、お互いのコミュニケーションが制限されて、閉塞していた2年間から、一転して行動制限がなくなりました。そのような中、最上級生という責任のある立場で、附属中学校の活動を活性化するために努力し、リードした経験です。すなわち、閉塞感を打破するため一歩を踏み出して、行動に移した「勇気と決断力」です。スタートを切るには「勇気と決断力」が必要とされます。これから、皆さんは高校、大学、そして、社会に出ていくわけですが、そのなかで、現状を打破するため、「勇気と決断力」で一歩を踏み出す必要がある場面がたくさんあります。その時には、「コロナ由来の閉塞感を打破して、行動に起こした」この貴重な経験を是非とも思い起こしてください。必ず、踏み出せます。これが、私からのお願いです。





そして、もう1つとても重要なことをお願いしたいと思います。それは、「附属中学校卒業生としての誇りと、附属中学校の伝統」を大切にしていきたいことです。実は、これまで校長室には附属中学校を卒業された先輩方が多くお見えになられ、附属中学校時代のことを懐かしくまた鮮明に、中学校時代のことをしみじみと語っておられます。また、そのような先輩方は、「附属中学校の生徒のためになることであればどんなことでも協力したい」と常

に言われます。さらには、4月に東京に修学旅行に行ったとき、附属中学校の研修に対して卒業生は積極的に協力をされます。覚えていると思いますが、国会議員の石破先生も、附中生徒の後輩のためにいうお気持ちで、時間がない中でも、宿舎へ足を運ばれ、講演をしていただいております。このように、附属中学校の卒業生は、後輩のために何かをしてあげたいという「文化」が確実にあります。おそらく、そこには、「附属中学校卒業生としての誇りと、附属中学校の伝統」が根底にあるのだと私は思います。

一方、その後輩思いの「文化」はこの度卒業する133名の卒業生にも着実に伝わっていると私は確信しています。それは何故かといいますと、文化祭の合唱練習をしているとき、3年生が1年生に対して合唱の手本を校庭で指導している光景を見たからです。しかも、その行動は、先生から指示されたわけでなく、3年生が自主的に手本を実演して、後輩のためにという思いで実行していたことが本当に素晴らしいと感じました。そして、これこそが、附属中学校の後輩思いの「文化」だとしみじみと思いました。本当に素晴らしかったです。



先輩たちが後輩のために何かをしてあげたいという思いが、生徒に伝わり、その生徒が卒業した後は、また、附属中学校のために貢献する。すなわち、先輩から受け取った恩のバトンを次の世代に受け渡すこと、これを「恩送り、恩のバトンリレー、英語では Pay it forward」といいますが、このような素晴らし「恩のバトンリレー文化」がこの附属中学校にはあります。どうぞこの「文化」に代表されるような「附属中学校卒業生としての誇りと、附属中学校の伝統」をずっとずっと持ち続けていただきたいと強く願っています。

さて、保護者の皆様、お子様のご卒業まことにおめでとうございます。保護者の皆様の深い愛情に支えられ、本日、卒業の日を迎えました。保護者の皆様には、陰になり、日向になり、お子様の成長を見守っていただきました。ご苦勞の多い3年間だったとご推察申し上げます。義務教育9年間の終了です。これまで、本当にお疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

結びになりますが、保護者の皆様にはこの3年間附属中学校の懇話会活動や学校行事を通じ、多大なご支援、ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げますとともに、卒業生の皆様の今後のご活躍を祈念して式辞といたします。

令和六年三月八日

附属中学校長 霜村典宏

## 【1, 2年生スポーツ大会開催】

1年生は3月14日、2年生は3月15日にそれぞれスポーツ大会・球技大会を開催しました。各学年の正副室長が主となり、種目を考えることから大会の企画・運営まで生徒自身が主体となって取り組みました。1



年生はドッチボールとしっぽ取りゲーム、2年生は、バレーボールと玉入れを種目として行い、クラス対抗で勝敗を競い合いました。今年度、最後の学年行事でしたが、各学年・クラスともに1年間築き上げてきた絆とチームワークを発揮して、時には励まし合ったり、時には喜び合ったりして、笑顔溢れる楽しい時間となりました。



## 【表彰関係】

### 【第11回 「算数・数学の自由研究」作品コンクール】

中学生の部 中央審査優秀賞	読売新聞社賞	森田 寧音
鳥取県審査委員会	優秀賞	宮城 華子
	優秀賞	仲倉 準翔

### 【「家庭の日」作文コンクール】

中学校の部	佳作	森田 寧音
-------	----	-------

### 【全国教育美術展】

全国教育美術展	入選	井上 千早
---------	----	-------

### 【JICA 中学・高校生エッセイコンテスト】

中学生の部 (JICA 中国所長賞)	国内機関長賞	田村 萌梨
--------------------	--------	-------

### 【防火ポスターコンクール】

防火ポスターコンクール	最優秀賞	大森 一芭
-------------	------	-------

### 【子育て川柳コンテスト】

子育て川柳コンテスト	有) 山田屋賞	安治 志保
------------	---------	-------

### 【鳥取市スポーツ表彰】

スポーツ賞 (個人)	アーチェリー	梅林 杏柚奈
スポーツ賞 (個人)	競漕	仲倉 準翔
スポーツ奨励賞 (個人)	水泳	長谷川 希心



スポーツ奨励賞（団体）	水泳	山中 凱翔
スポーツ敢闘賞（個人）	新体操	谷口 暖
スポーツ敢闘賞（個人）	水泳	村上 玲嘉
スポーツ敢闘賞（個人）	陸上	板倉 もあ
スポーツ敢闘賞（個人）	陸上	小林 千乃
スポーツ敢闘賞（個人）	陸上	寸田 和加子
スポーツ敢闘賞（個人）	陸上	宮田 瑚子
スポーツ敢闘賞（個人）	陸上	森 蓮太郎
スポーツ敢闘賞（個人）	陸上	山中 咲季
スポーツ敢闘賞（個人）	水泳	山中 凱翔
スポーツ敢闘賞（団体）	サッカー	前田 直輝
スポーツ敢闘賞（団体）	サッカー	西村 明真
スポーツ敢闘賞（団体）	新体操	藤井 虹々音
スポーツ敢闘賞（団体）	新体操	谷口 暖
スポーツ敢闘賞（団体）	新体操	西谷 和奏
スポーツ敢闘賞（団体）	新体操	桐林 芽生
スポーツ敢闘賞（団体）	新体操	長谷川 菜南
スポーツ敢闘賞（団体）	新体操	古井 朋佳
スポーツ敢闘賞（団体）	バスケットボール	山田 智香
スポーツ敢闘賞（団体）	水泳	山中 凱翔
スポーツ敢闘賞（団体）	水泳	熊澤 希実
わかとり賞	アーチェリー	梅林 杏柚奈
わかとり賞	競漕	仲倉 準翔

#### 【裏千家茶道】

裏千家茶道	奨励証	武井 まあや
裏千家茶道	奨励証	坂本 佐和
裏千家茶道	奨励証	太田 萌香
裏千家茶道	奨励証	上村 悠奈
裏千家茶道	奨励証	奥平 桃子
裏千家茶道	奨励証	長尾 桃奈
裏千家茶道	奨励証	前田 野乃香
裏千家茶道	奨励証	尾崎 杏樹

#### 【全日本年賀状大賞コンクールことば部門】

中学生の部	奨励賞	安治 志保
-------	-----	-------